

介護に対する発想の転換が必要であり、健康で働ける高齢者、介護不用の高齢者の割合を増やしていくことが、最高の政策である。	介護の必要のない健康な高齢者を増やし、市民誰もが安心して幸せな生活を送ることができるよう、介護予防施策の推進を図るとともに、市民の健康づくりに努めることが重要になることから、「高齢者福祉の充実」や「保健・衛生の充実」に関する主要な事業を計画に位置付けております。
---	---

8 合併シンボルプロジェクト 2件

意見の要旨	合併協議会の考え方
生涯学習を在宅や公民館で可能とするため、津久井地域にも大容量通信網（光ファイバー）の整備を行って欲しい。	市民の生涯学習機会の充実のため、図書館、博物館、公民館、大学などが相互に連携した仕組みづくりが必要であると考えております。なお、津久井地域でも光ファイバーへの接続は可能となっております。
「パートナーシップ・都市内分権プロジェクト」は「まちづくりの考え方」と一つにまとめた方が良い。	「まちづくりの考え方」は様々なまちづくりの施策に取り組む上での共通する進め方を、都市経営の観点からまとめたものです。一方、パートナーシップ・都市内分権プロジェクトは、新市の一体性を確保するためのシンボルとなる事業についてまとめた、6つのプロジェクトのひとつとして整理していることから、別途記載する必要があるものです。

9 交通 11件

意見の要旨	合併協議会の考え方
国道、県道の改良工事をして欲しい。	新市の一体性を確保し、均衡ある発展を目指すため、新市内を円滑に結ぶ交通網の整備が求められることから、「骨格幹線道路網の整備」及び「公共交通網の充実」について取り組んでいくことが必要であり、「国道、県道の整備促進」「バスのネットワークの充実」などを主要な事業として位置付けております。
県道山北藤野線の改良工事をして欲しい。	
「公共交通網の充実」の主要事業に、個別の具体的地域を記載し、最優先事業として取り組む姿勢を明示して欲しい。	
藤野町から市中心部への、直通バス等の公的交通手段の確保を盛り込んでもらいたい。	
公共交通としてのバスの運行を継続して欲しい。	
藤野駅周辺の諸課題を解決するために、駅周辺幹線道路の機能の充実について明記していただきたい。	
役場入口周辺の国道20号の幅員が狭い箇所の整備を優先すべき。	
藤野駅のバリアフリー、エスカレーター等の整備推進。	
藤野駅周辺に駐車場を確保して欲しい。	
沢井トンネルの早期改善を計画して欲しい。	
山間では冬は降雪に悩まされている。生活道路を含めた道路の除雪を実施して欲しい。	

10 都市基盤 3件

意見の要旨	合併協議会の考え方
簡易水道を町営水道か県営水道として管理して欲しい。	水源地域の保全や生活環境の向上に向けて、上下水道の整備を進めることが重要であると考えており、主要な事業としております。
市街地での公園整備ではなく、子どもたちが安心して遊べる場所が少ない藤野町での公園整備を促進して欲しい。	新市においても、うるおいのある生活環境づくりのため、身近な公園の計画的な整備を進めていくことが必要であると考えております。
藤野町の人口減少の対策として、若者や子育て世代を対象にした低家賃住宅の整備事業を盛り込んで欲しい。	新市においても、年少人口及び生産年齢人口の減少は大きな課題であり、次世代育成支援としての子育て環境づくりや、若年労働者を確保するための生活基盤の環境づくりなどについて、総合的に取り組むことが重要であると考えております。

11 自然・環境 4件

意見の要旨	合併協議会の考え方
水源対策を山梨県と共同で推進する体制をとって欲しい。	ダム貯水池の水質浄化などの水源環境保全対策については、今後とも神奈川県等と連携して取り組む必要があると考えております。

津久井地域に、自然環境に配慮した先進的な生活排水処理を導入して欲しい。	津久井地域は神奈川県重要な水源地域であり、豊かな自然環境を保全する方策として「公共下水道の整備」や「合併処理浄化槽の設置促進」などを主要な事業に位置付けております。
山間地では鳥に食べ荒らされる恐れがあるので、ごみは現在と同様ごみ袋を収納容器に入れて出す方が良い。	ごみが鳥などに食べ荒らされたりしないよう、何らかの措置をすることは必要であり、合併後の新市において検討していくことになるものと考えております。
不法投棄を防ぐための監視をして欲しい。	自然と共存する地域づくりのため、廃棄物不法投棄防止対策を推進することが必要であることから、主要な事業としております。

12 産業 3件

意見の要旨	合併協議会の考え方
藤野町の特産品をもっとPRした方が良い。	新市において特産品を紹介することなどを含めて、地域特性を生かした地場産業の振興を図る必要があるものと考えております。
藤野町の人口減少の対策として、雇用創出のために環境共生型工業の誘致を盛り込んで欲しい。	豊かな自然環境や首都圏における立地特性などを生かした新たな産業の創出や、企業誘致などを通じた産業振興により、雇用機会の増大を目指すこととしております。
藤野町の有効利用できる土地を市民農園として貸し出したらどうか。	遊休化した農地などについては、様々な方法で有効利用を図る必要があると考えております。

13 観光 2件

意見の要旨	合併協議会の考え方
ハイキングコースの整備をして欲しい。	津久井地域の森林や湖などの自然資源を活かして、観光やレクリエーションの振興に取り組むこととしており、「ハイキングコース整備事業」などを主要な事業として位置付けております。
陣馬山を活用し、登山者により商店が活性化するようにすべき。	

14 教育・文化 9件

意見の要旨	合併協議会の考え方
小中学校の統廃合は必要であるが、その地域の教育空洞化が懸念されるので、分校制度等での存続も検討する価値がある。	藤野地域に点在している小中学校の統廃合を行うことによって、学校の規模の適正化が図られ、一定数の集団の中で学習することなどにより、統合後の教育環境の充実が図られると考えられることから、「藤野地域の小学校統廃合事業」を主要な事業として位置付けております。
藤野町の小中学校を1箇所にして一貫教育にしたらどうか。	合併後、新市の学校教育のあり方について、改めて検討されることになると考えておりますが、その中で小中一貫教育の考え方などについても検討されることになるものと考えております。
新市内のどこの中学校にも通学できるようにして欲しい。	児童生徒は地域ぐるみによる育成が必要であることや、安全面の観点からも通学区域の自由化は難しいと考えております。
「藤野町の教育特区」は「藤野教育芸術特区」として施策に掲げるべきである。	芸術的手法による教育活動のための学校設置に関する特区の認定につきましては、学校教育の多様化の観点から整理しております。
藤野町南部へのスポーツ施設として、牧野スポーツ広場を盛り込んで欲しい。	心の豊かさを育み、安心して生き活きた市民生活の実現をめざすため、スポーツ・レクリエーションの振興に努めることとしております。具体的な施設の整備につきましては、新市全体のバランスや地域特性を考慮して検討されるものと考えております。
「武道館の整備検討」は必須の事業である。	新市において、市民が身近にスポーツを楽しむ機会を提供するための拠点施設として、整備計画を検討することが必要になるとの考えから、主要な事業に位置付けております。